

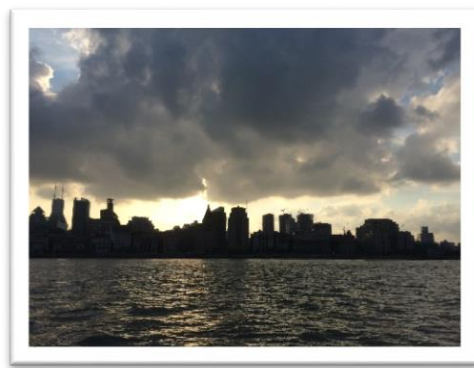
## 中国セメスター留学便り 10月

留学生活二か月目。今年の中国の夏は長く続きました。雨がなかなか降らず夏日が続き、10月中は夏服で過ごす日が多くありました。秋の涼しさが恋しくはありますが、洗濯物がよく乾いてくれるので、この異常気象も悪くないかな、と私は思います。

この留学便りを書いている今（11月初め）は、一気に冷え込み急に冬が訪れた、といった感じです。留学に来る前の準備の時に、かさばるから持っていくか迷った厚手の上着が大活躍しています。日の当たらない私の部屋はとても寒いです。これから留学に行こうと考えている後輩の皆さん、日当りは非常に重要です。宿舎の部屋割りを決める際には、できることなら日のよく当たる個室を希望しましょう。

### 国慶節

気候の話はこのくらいにして、10月にあった出来事について書きます。中国の10月といえば国慶節です。日本でいうゴールデンウィークのようなもので、1日から7日まで丸々1週間の休暇となります。今年はクラスで合同の旅行もなく、皆思い思いに長い休みを満喫したようです。国慶節明けの授業では、ほとんどの先生が「国慶節は何をして過ごした？」という質問を投げかけてきました。遠出した人は少なく、南京路や外灘エリアが人気だったようです。



### 日中交流会

10月中旬ごろに、大学の教室を使って日中交流会が行われました。留学生活にも慣れ、中国語も上達してきたこのタイミングで開かれたのはとても良かったと思います。つたない中国語でも身振り手振りを交えながら、皆コミュニケーションを楽しんでいました。私はここで初めて中国人の学生さんとお友達になることができました。教科書と睨めっこして単語や文法を覚えるよりも、自分の気持ちを相手に伝えたい！という気持ちのもとに実

際に言葉を使う方が、断然上達が早いなと実感しました。

## HSK 講座

同じく中旬ごろから HSK の授業が始まりました。1 2 月に全員が受験する HSK の対策講座です。4 級の教科書を使って進められます。普段の授業の後に追加されたので体力的にも予習的にもかなり厳しいものがありますが、留学の目に見える成果となる HSK で良い結果を残すため、皆意欲的に授業に参加しているようです。

## まとめ

留学生活の折り返しとなる月でした。初めは戸惑いの連続でしたが、中国の食や交通事情などにもだんだんと馴染んで、より勉強に集中できるようになりました。

この留学通信を書く上で、今までの留学通信のバックナンバーを読みました。驚いたのはその行事の豊富さです。今年のカンファレンス留学は3か月に短縮となり、その分授業が凝縮されています。朝9時ごろから授業が始まり、遅いときには夜の7時半まで授業が入ることもあります。授業を終えて帰宅した後は次の日の予習や小テスト勉強。このようなキツキツのスケジュール故に、これまでのように行事を開くのが難しくなっています。

日中交流会の所でも書きましたが、語学は実際に使うことが一番の上達方法だと思います。ただただ授業に追われる毎日なのがちょっと残念です。

ですが、語学は短期集中型の勉強方法が有効だという話も聞いたことがあります。そしてこの厳しい授業スケジュールでも皆休まずに頑張って授業に参加しています。今辛い分、この3か月を乗り切れば、きっと今まで以上に自分はやり遂げたぞ！という達成感が湧くに違いありません。留学生活も残り一か月を切りました。悔いの残らぬよう、ここで自分がすべきことを頑張ります。

(中国文学科二年 河原友美)